

大麦栽培管理情報(第5号)

令和2年3月26日
アルプス農協管内農業技術者協議会

本年の大麦の生育の進みは平年より大幅に早くなっています。^{注1)}

あなたの大麦圃場の出穂期は○月○日頃と見込まれます。赤かび病の防除を遅れず実施しましょう。

注1) J Aアルプス管内の出穂期は、平均で4月3日頃(平年:4月22日)です。

なお生育の進みは、地区や圃場によって差があります。赤かび病の防除は出穂状況を必ず確認し、遅れず、穂揃期(開花始め)とその7日後に、確実に実施しましょう。

1. 赤かび病防除 ～適期を把握して確実に散布！～

必ず生育状況を確認して、防除を行いましょ。

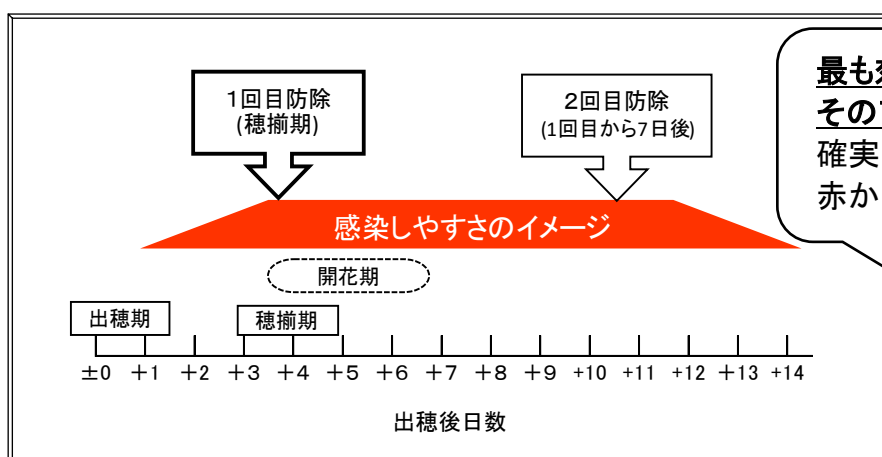


図 防除のイメージ

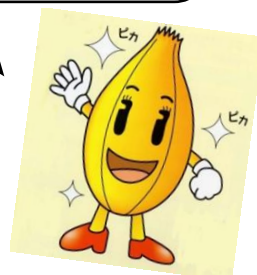


表 防除体系

防除体系	1回目:穂揃期(開花始め) 4月○日頃	2回目:1回目の7日後 4月○日頃
粉剤	トップジンM粉剤 DL 4kg/10a (収穫14日前まで) ^{注2)}	ワークアップ粉剤 DL 3kg/10a (収穫7日前まで)

注2)トップジンM粉剤DLは出穂期以降1回しか使えません。

<散布のポイント>

- ・防除適期に降雨が多い場合でも、晴れ間を利用して確実に防除をしましょう。
- ・防除効果を高め、かつ住宅地や周辺作物等への農薬飛散を防止するため、風の弱い時間帯に散布しましょう。

2. 排水対策の徹底 ～収穫時期まで随時手直し！～

出穂後の登熟条件を良好に保つため、水口や畦畔からの漏水状況を点検するなど、最後まで排水対策を徹底しましょう。